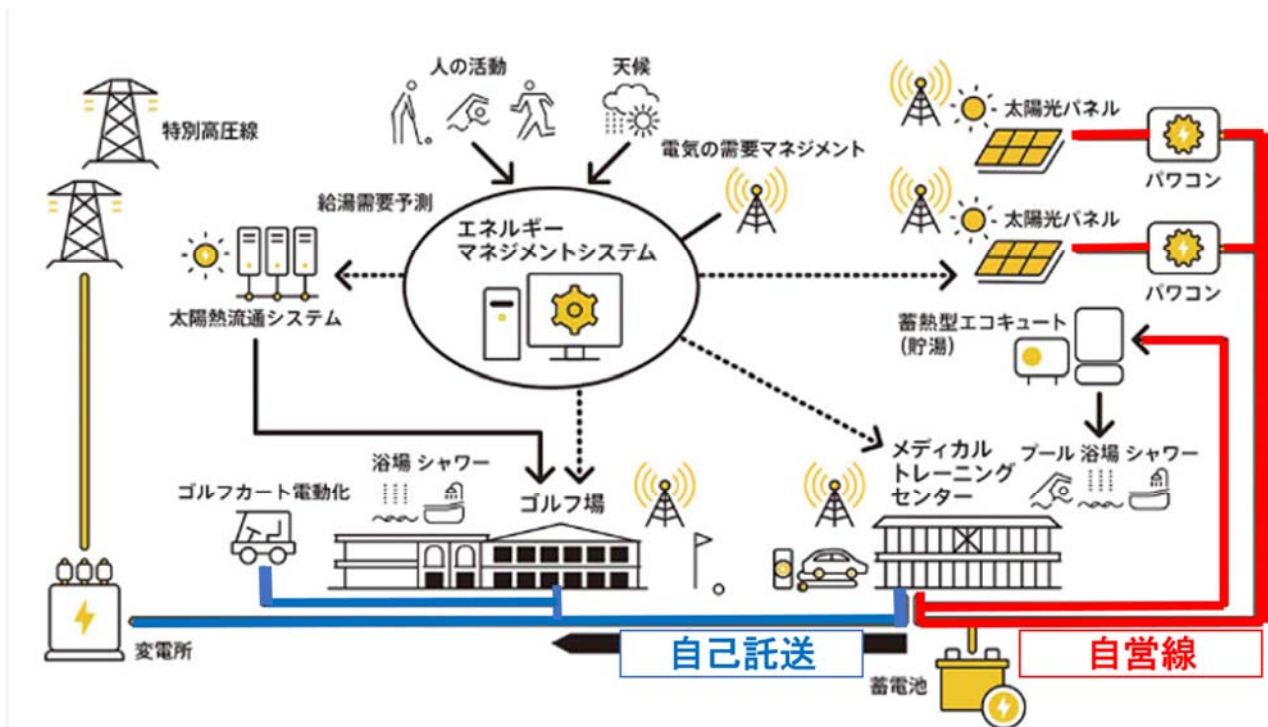


<別紙:地産地消エネルギーシステムの概要>

①システムの概要

- ・ PV の電力は、約 1km 先のスポーツ施設(図:メディカルトレーニングセンター)へ自営線で直接供給。既存のヒートポンプ給湯機や新設した蓄電池も活用し、PV の電力をスポーツ施設で最大限利用。
- ・ スポーツ施設での余剰電力は約 3km 先のゴルフ場へ、既存配電線を利用する自己託送方式で送電。さらにゴルフ場ではヒートポンプ給湯機を新設し、既存の液化石油ガスボイラの稼働を抑制。
- ・ スポーツ施設とゴルフ場に導入した設備機器をエリア全体でまとめて管理するために EMS を導入。エリア内の需給バランスを制御することに加え、自己託送で必要な広域機関への発電計画報告も自動で行う。

②システムイメージ



③本システムの導入設備

- ・太陽光パネル 1,200kW, PCS 1,000kW
- ・ヒートポンプ給湯器(ゴルフ場に設置) 35kW × 2
- ・蓄電池(メディカルトレーニングセンターに設置) 100kWh
- ・EMS 東光高岳製



東光高岳製 EMS

④各社の役割

- ・東光高岳：本システムの構築(EMSの開発等)
- ・東京電力HD：太陽光や蓄電池のリソース制御や、施設内における需給制御の最適化を図るエネルギーマネジメント等の技術支援

⑤リソルの森

真名カントリークラブ(ゴルフ場)



出典:リソルグループ 真名カントリークラブ HP より

メディカルトレーニングセンター(スポーツ施設)



出典:Sport & Do Resort リソルの森 HP より